

## ふるさと教育 取組事例

学校名	安来市立第二中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	安来に自分が貢献できることを 考え、実践する。	市内の各事業所 交流センター
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町作りや地域の活性化の取組に関わる人々の思いや願いがわかる。</li> <li>・地域と自分の関わりを理解し、今の自分たちに出来ることを実行したり、未来について考えたりすることができる。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>総合的な学習に時間を主に、これからの社会や地域に求められる人材について考え、実際に地域で活動を体験させてもらうために、職場体験学習を行った。活動後は、地域での課題や中学生としてこれから出来ることなどをまとめ、1・2年生にむけて発表会で発信した。</p> <p>さらに、自分たちでできる地域貢献を考え、各地区の交流センターでの奉仕活動につながった</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>地域には、中学生がまだ知らない様々な職種や仕事がたくさんある。地元で職場体験学習を行うことによって、今まで知らなかったことや地域の課題、人々の願いを知るよい機会になると考え、3年生での職場体験学習を計画・実施した。さらに、地域の人々の思いを考え、地域のために、今の自分たちにできることを考え、実践を促した。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>実際にいろいろな仕事を体験させていただくことにより、今まで気付かなかった人々の思いを実感することができ、その体験から自分の考えの構築につながるように計画した。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>それぞれが興味関心のある職場を選び、一生懸命活動することができた。なかには、この活動をもとに、自分の将来の夢や進路を考えるきっかけとなった生徒もいた。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>体験学習後に、1・2年生にむけて、一人ひとりがプレゼン資料を作成し、発表交流会を行った。自分の考えたことを伝えるために、どんなことを工夫したらよいか、など発表する側も考える良い機会となった。1・2年生もこれから自分たちがどんな活動や学習を行うか、先を見通すことができた。</p> <p>一つの活動から、新たな課題をみつけ、次の活動でのさらにワンランクアップした自己目標をたて、実行する力が少しずつ身についてきた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>生徒にとって有意義な体験学習を計画実施するために、ふるさとには、どんな「ひと・もの・こと」があるのかを知り、そのうえで、どういうふうに活用していくのかを教員が見通しをもつ必要がある。しかし、地域の様子について必ずしも教員が詳しいとは言えない。そのような状況の中で、今まで以上に地域支援コーディネーターとの連携が必要となってくる。</p>			